

## 5. 子どもの考え方・親の考え方

### 1. 子どもの考え方

(1) 習いごとをして思うこと(小3)(小6)(中2)

【表5 - 1(1)】 <良かったこと>

友だちがふえた	うたことになった	今までできなかったよ	学校で役に立った	体がじょうぶになった	人にほめてもらった	親がよろこぶ	好きな先生・おと
57.8	54.9	41.3	32.1	28.7	23.3	12.6	

うたことになった	今までできなかったよ	友だちがふえた	学校で役に立った	体がじょうぶになった	人にほめてもらった	が将来やりたいこと	親がよろこぶ	好きな先生ができた
52.1	40.2	38.3	32.8	27.7	19.6	13.0	9.5	

ま自分の能力が高	えいるんな人と出会	趣味が増えた	友だちが増えた	体力がついた	とが増えられた	人に認められた	自信がついた	が将来やりたいこと	出会えた	尊敬できる先生に	になつた	学校生活にプラス	礼儀正しくなった
48.6	32.8	35.5	35.5	27.9	24.8	21.5	19.8	18.8	17.1	14.5			

【表5 - 1(1)】 <困ったこと・良くなかったこと>

遊ぶ時間が少なくなった	しゃべることが楽しくない	ら(親や先生に)ふえか	友だちが減った	とくにな
31.8	9.9	7.4	2.4	57.9

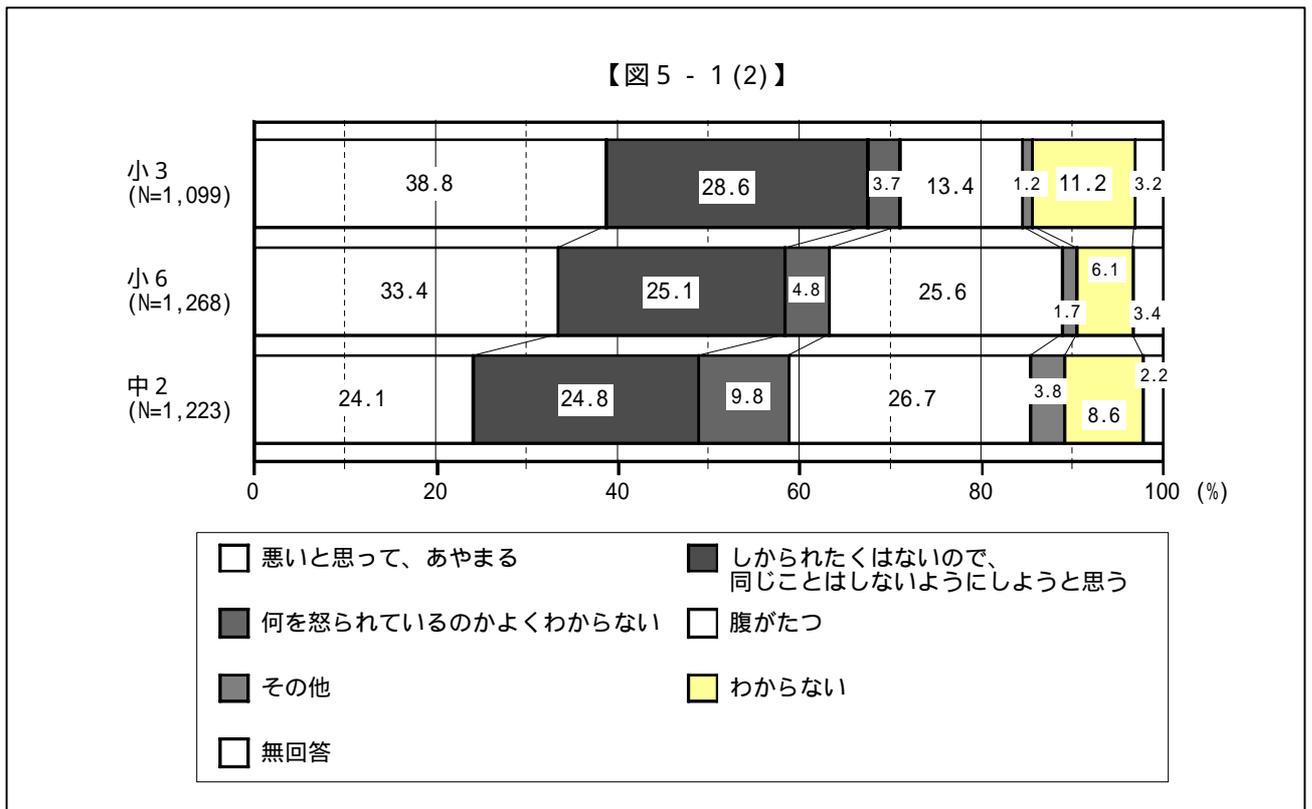
時間がかかると遊ぶ	できればやめたい	楽しくない	えしかられることがふ	友だちが減った	あまり何も思わない
24.7	11.3	6.5	5.7	0.5	8.1

忙しくなった	ず時間に追われる気が	できればやめたい	楽しくない	えしかられることが増	友だちが減った	あまり何も思わない
27.1	14.1	6.6	5.4	5.4	0.0	7.0

習いごとをして思うことをたずねたところ、良かったこととして、小3、小6では「友だちがふえた」「今までできなかったことができるようになった」「学校で役に立った」などが多く、中2では「自分の能力が高まった」「いろんな人と出会えた」「趣味が増えた」「友だちが増えた」などが多くなっている。(表5 - 1(1) )

一方、困ったこと・良くなかったこととして、いずれの年代も「忙しくなって、遊ぶ時間がへった」「忙しくなった」が20~30%を占め、最も多くなっている。また、小3では「とくにない」という回答が57.9%を占めている。(表5 - 1(1) )

(2) 地域の人に叱られた時の感情(小3)(小6)(中2)



地域の人に叱られた時に思うことをたずねたところ、「悪いと思って、あやまる」は小3で38.8%、小6で33.4%を占め、最も多くなっている。しかし、年代が上がるにつれてその割合は減少し、かわって「何を怒られているのかよくわからない」「腹がたつ」の回答割合が増加している。中2になると、「悪いと思って、あやまる」「しかられたくはないので、同じことはしないようにしようと思う」「腹がたつ」がそれぞれ約25%を占めている。(図5 - 1(2))

小3では、ひとりっ子の場合、きょうだいがいる場合に比べて「悪いと思って、あやまる」の回答割合が高く、反対に「腹がたつ」の回答割合が低くなっている。(表5 - 1(2) - 1)

自分の気持ちをわかってくれる人がいる、自分のことが好きであるということに対して「はい」、家出したいと思ったことがあるということに対して「いいえ」と回答した場合、「悪いと思って、あやまる」が最も多く、小6で約40%、中2で約30%を占めている。反対に、小6・中2では、夕食をひとりで食べるもしくは帰宅時に家に誰もいない場合、自分の気持ちをわかってくれる人がいる、自分のことが好きであるということに対して「いいえ」、家出したいと思ったことがあるという

ことに対して「はい」と回答した場合、「腹がたつ」という回答が30～40%程度を占め、全体平均よりも高くなっている。(表5 - 1(2) - 2)

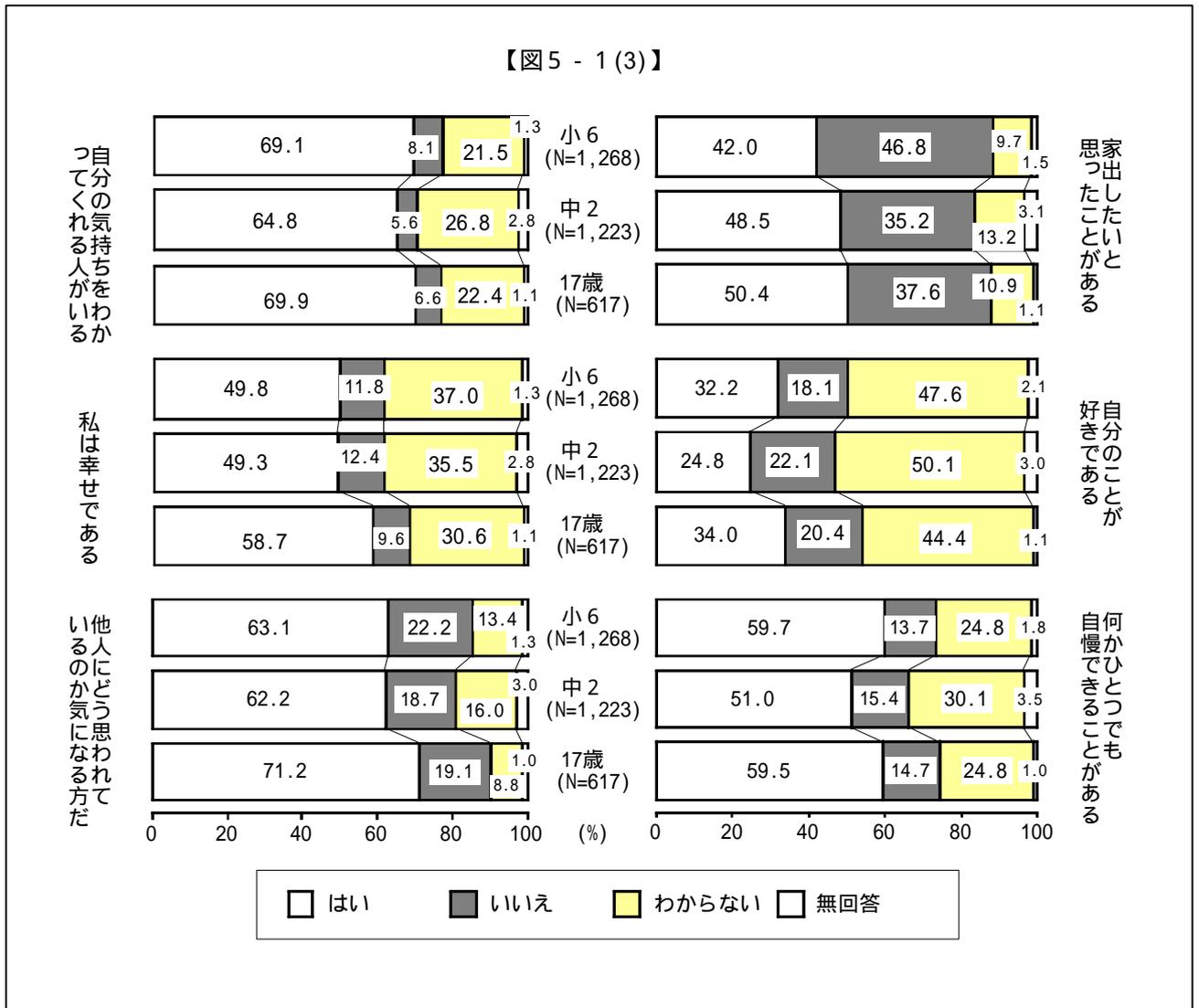
【表5 - 1(2) - 1 兄弟・帰宅時・夕食の状況別 地域の人に叱られた時の感情】

		(%)								
	全 体	る 悪 い と 思 っ て 、 あ や ま	よ う に し じ よ う と 思 う	で 、 か ら れ た く は し な い の	よ く わ か ら な い の か	何 を 怒 ら れ て い る の か	腹 が た つ	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
小3										
全 体	1099	38.8	28.6	3.7	13.4	1.2	11.2	3.2		
兄弟の状況										
ひとりっ子	112	46.4	24.1	1.8	7.1	1.8	13.4	5.4		
長子	385	38.4	31.4	4.2	13.2	0.8	8.8	3.1		
中間子	145	37.2	26.9	2.8	18.6	0.7	12.4	1.4		
末子	409	37.9	28.6	4.2	13.4	1.7	11.5	2.7		
帰宅時の状況・夕食の状況										
帰宅時、家に誰もいない	227	34.8	27.3	4.0	17.2	0.4	11.9	4.4		
夕食をひとりで食べる	13	46.2	30.8	7.7	7.7	0.0	0.0	7.7		
帰宅時の状況・夕食の状況										
小6										
全 体	1268	33.4	25.1	4.8	25.6	1.7	6.1	3.4		
帰宅時、家に誰もいない	280	33.9	20.7	6.1	30.7	2.5	5.0	1.1		
夕食をひとりで食べる	42	21.4	28.6	11.9	31.0	2.4	2.4	2.4		
中2										
全 体	1223	24.1	24.8	9.8	26.7	3.8	8.6	2.2		
帰宅時、家に誰もいない	223	17.5	25.1	10.8	28.7	4.0	10.8	3.1		
夕食をひとりで食べる	154	11.0	20.8	11.0	37.0	5.8	13.0	1.3		

【表5 - 1(2) - 2 自尊感情別 地域の人に叱られた時の感情】

		(%)								
	全 体	る 悪 い と 思 っ て 、 あ や ま	よ う に し じ よ う と 思 う	で 、 か ら れ た く は し な い の	よ く わ か ら な い の か	何 を 怒 ら れ て い る の か	腹 が た つ	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
小6										
全 体	1268	33.4	25.1	4.8	25.6	1.7	6.1	3.4		
自分の気持ちをわかってくれる人がいる										
はい	876	37.3	27.2	4.2	21.8	1.9	4.8	2.7		
いいえ	103	23.3	15.5	4.9	43.7	0.0	6.8	5.8		
わからない	273	24.5	22.3	7.0	31.9	1.5	9.5	3.3		
家出したいと思ったことがある										
はい	532	28.9	23.1	4.7	33.8	1.9	4.5	3.0		
いいえ	594	39.7	26.9	4.5	17.0	1.9	6.9	3.0		
わからない	123	22.0	26.0	6.5	33.3	0.0	7.3	4.9		
自分のことが好きである										
はい	408	38.7	26.2	3.9	22.5	2.0	4.2	2.5		
いいえ	229	29.3	20.5	6.6	30.6	2.2	7.9	3.1		
わからない	604	31.5	26.3	5.0	26.2	1.3	6.5	3.3		
中2										
全 体	1223	24.1	24.8	9.8	26.7	3.8	8.6	2.2		
自分の気持ちをわかってくれる人がいる										
はい	793	27.1	27.4	9.0	24.8	3.7	7.1	1.0		
いいえ	68	14.7	16.2	7.4	36.8	8.8	16.2	-		
わからない	328	18.9	21.0	12.5	29.9	3.4	11.6	2.7		
家出したいと思ったことがある										
はい	593	19.9	25.1	11.6	31.7	3.4	6.9	1.3		
いいえ	430	30.5	26.3	7.9	20.2	4.7	9.3	1.2		
わからない	162	21.6	21.6	8.6	27.8	3.7	14.2	2.5		
自分のことが好きである										
はい	303	30.0	24.4	10.9	20.5	3.6	9.9	0.7		
いいえ	270	23.7	20.0	10.4	32.2	4.4	8.5	0.7		
わからない	613	21.4	27.6	9.1	27.7	3.8	8.3	2.1		

(3) 自尊感情(小6)(中2)(17歳)



自尊感情をみると、以下の通りである。

自分の気持ちをわかってくれる人がいる

各年代を通じて、「はい」と回答した子どもが多く、60%以上を占めている。(図5 - 1(3))

何でも話せる友だちがいる場合は、過半数が「はい」と回答している。しかし、いない場合にはその割合が半数以下と低くなり、「いいえ」という回答が約20%を占め、一方で「わからない」という回答も増えている。(表5 - 1(3) - 1)

私は幸せである

いずれの年代も「はい」の回答が最も多く、小6、中2では約50%、17歳では58.7%を占めている。しかし、一方で「わからない」と回答している子どもが30~40%を占めている。(図5 - 1(3))

帰宅時に家に誰もいない、夕食をひとりで食べる場合、小6、中2では「いいえ」という回答が20~30%を占め、全体平均よりも高くなっている。(表5 - 1(3) - 1)

何でも話せる友だちがいない場合には、いる場合に比べて「いいえ」という回答割合が高くなる傾向がみられ、特に中2では約25%を占めている。(表5 - 1(3) - 1)

他人にどう思われているのか気になる方だ

いずれの年代も「はい」の回答が最も多く、小6、中2では約60%、17歳になると71.2%を占めている。(図5 - 1(3) )

家出をしたいと思ったことがある

小6では「いいえ」が46.8%を占めており、「はい」(42.0%)と回答した子どもをやや上回っている。中2以上になると、「はい」の回答割合が増え、約50%を占めている。(図5 - 1(3) )

自分のことが好きである

「はい」と回答した子どもは、小6、17歳では約30%、中2ではその割合がやや低く、24.8%となっている。しかし、「いいえ」の回答が20%前後を占め、いずれの年代も「わからない」が最も多く、40~50%を占めている。(図5 - 1(3) )

中2では、何でも話せる友だちがいる場合は、「はい」が20%以上を占めているが、いない場合には10%程度となっており、「いいえ」が「はい」を上回っている。(表5 - 1(3) - 1)

何かひとつでも自慢できることがある

各年代を通じて「はい」と回答した子どもが50%以上を占めている。(図5 - 1(3) )

【表5 - 1(3) - 1 何でも話せる友だちの数別 自分の気持ちをわかってくれる人がいる】

	全 体					無 回 答
		はい	いいえ	わ か ら な い		
何でも話せる友だちの数						
小6						
全 体	1268	69.1	8.1	21.5	1.3	
いない	74	48.6	21.6	29.7	-	
5人未満	571	68.8	7.4	22.6	1.2	
5人以上10人未満	325	75.4	5.5	18.8	0.3	
10人以上20人未満						
(小学生：10人以上15人未満)	109	67.0	9.2	22.0	1.8	
(小学生：15人以上20人未満)	31	80.6	6.5	9.7	3.2	
20人以上	57	80.7	1.8	15.8	1.8	
中2						
全 体	1223	64.8	5.6	26.8	2.8	
いない	97	33.0	20.6	43.3	3.1	
5人未満	491	67.2	4.9	25.7	2.2	
5人以上10人未満	305	74.8	3.6	18.7	3.0	
10人以上20人未満	127	70.9	3.9	24.4	0.8	
20人以上	65	76.9	6.2	15.4	1.5	
17歳						
全 体	617	69.9	6.6	22.4	1.1	
いない	54	27.8	22.2	50.0	-	
5人未満	312	69.9	7.4	22.1	0.6	
5人以上10人未満	151	83.4	2.0	13.9	0.7	
10人以上20人未満	54	70.4	3.7	22.2	3.7	
20人以上	18	88.9	0.0	11.1	-	

(%)

【表5 - 1(3) - 1 帰宅時・夕食の状況・何でも話せる友だちの数別 私は幸せである】

	全 体	(%)			
		はい	いいえ	わからない	無回答
小6					
全 体	1268	49.8	11.8	37.0	1.3
帰宅時の状況・夕食の状況					
帰宅時、家に誰もいない	280	44.3	19.3	36.4	-
夕食をひとりで食べる	42	45.2	28.6	23.8	2.4
何でも話せる友だちの数					
いない	74	41.9	14.9	43.2	-
5人未満	571	49.4	12.8	36.6	1.2
5人以上10人未満	325	49.2	12.0	38.2	0.6
10人以上20人未満					
(小学生：10人以上15人未満)	109	48.6	11.9	37.6	1.8
(小学生：15人以上20人未満)	31	54.8	6.5	35.5	3.2
20人以上	57	63.2	5.3	29.8	1.8

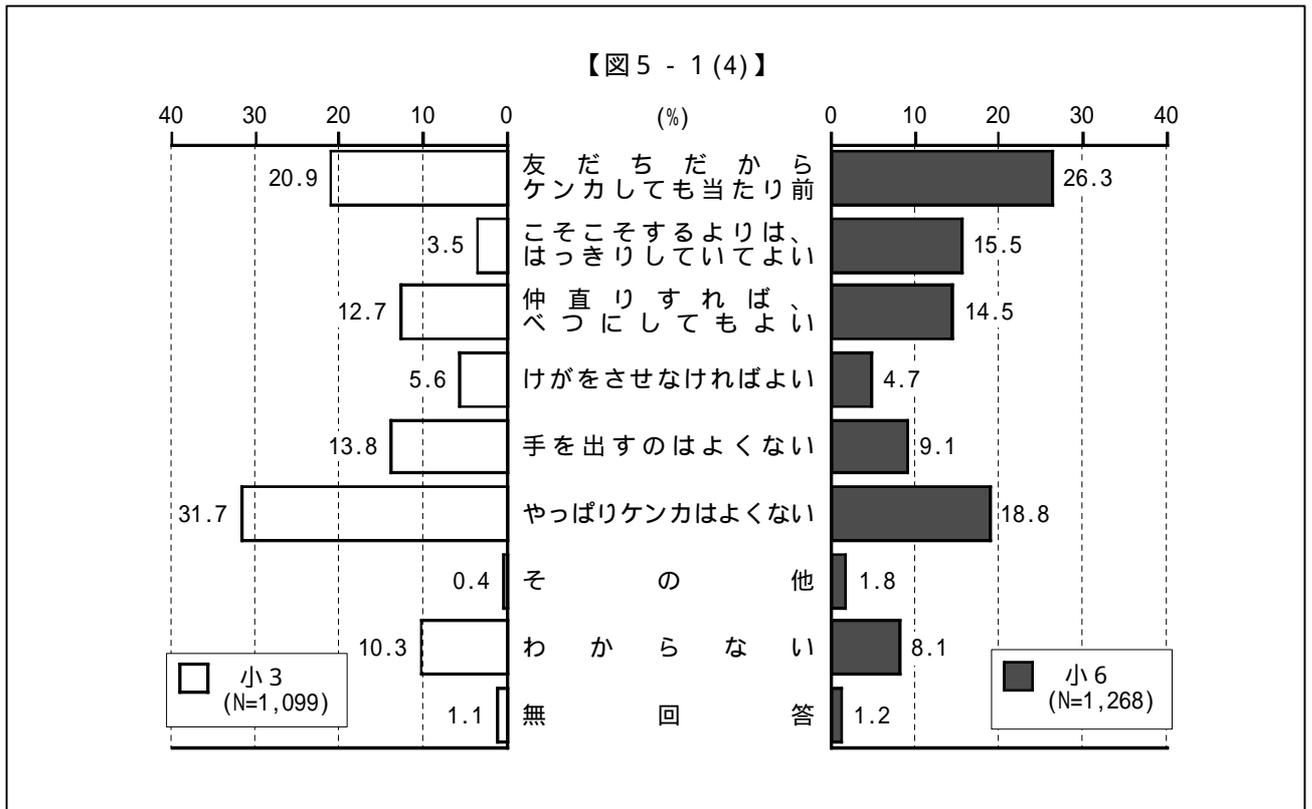
	全 体	(%)			
		はい	いいえ	わからない	無回答
中2					
全 体	1223	49.3	12.4	35.5	2.8
帰宅時、家に誰もいない	223	44.4	17.5	35.0	3.1
夕食をひとりで食べる	154	33.1	22.1	41.6	3.2
何でも話せる友だちの数					
いない	97	33.0	25.8	38.1	3.1
5人未満	491	51.7	13.0	33.2	2.0
5人以上10人未満	305	50.8	8.9	37.0	3.3
10人以上20人未満	127	54.3	11.8	33.1	0.8
20人以上	65	56.9	13.8	27.7	1.5

	全 体	(%)			
		はい	いいえ	わからない	無回答
17歳					
全 体	617	58.7	9.6	30.6	1.1
帰宅時、家に誰もいない					
夕食をひとりで食べる					
何でも話せる友だちの数					
いない	54	42.6	16.7	40.7	-
5人未満	312	59.0	10.9	29.8	0.3
5人以上10人未満	151	66.2	5.3	27.8	0.7
10人以上20人未満	54	64.8	7.4	24.1	3.7
20人以上	18	61.1	16.7	22.2	-

【表5 - 1(3) - 1 何でも話せる友だちの数別 自分のことが好きである】

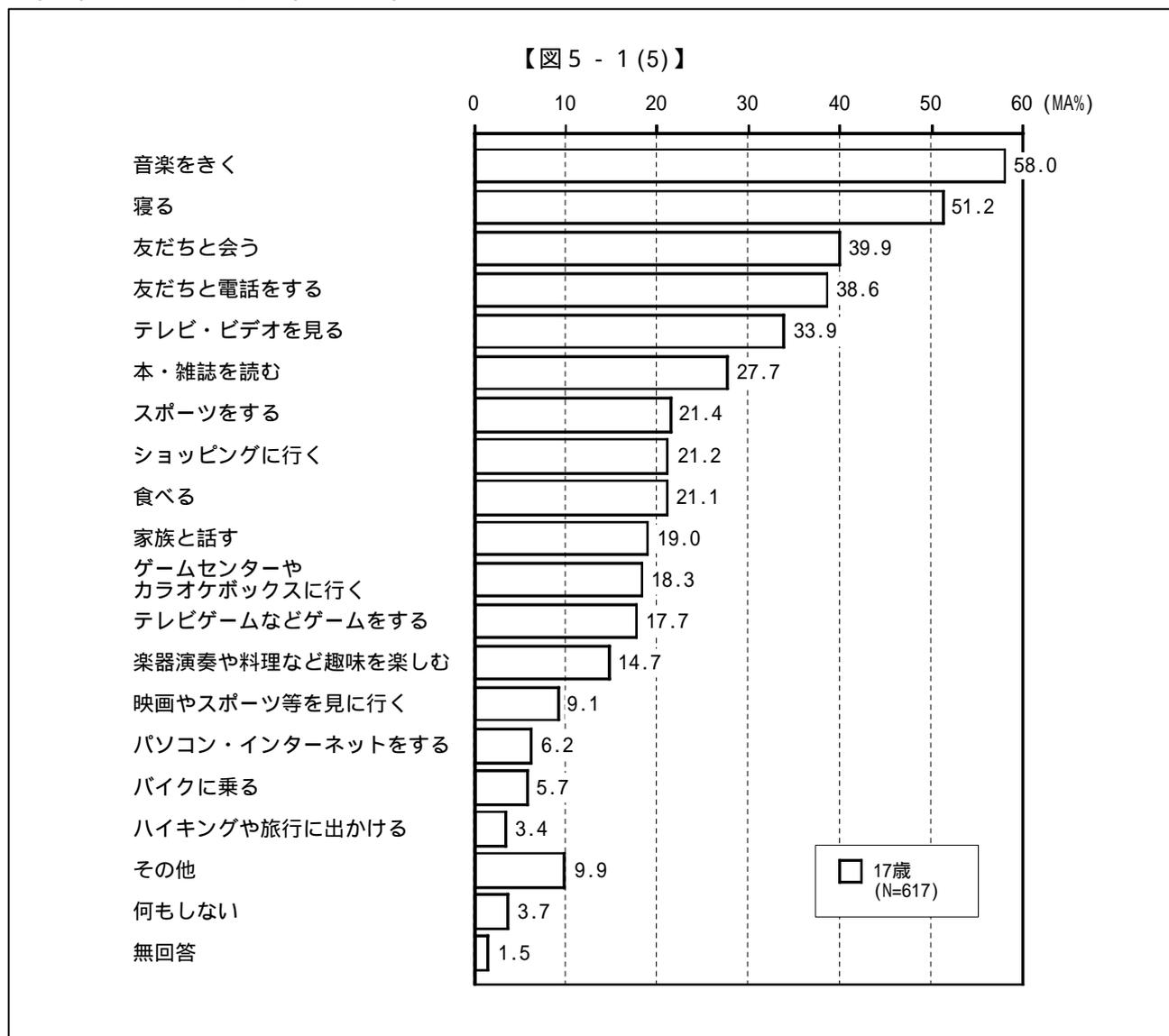
	全 体	(%)			
		はい	いいえ	わからない	無回答
中2					
何でも話せる友だちの数					
全 体	1223	24.8	22.1	50.1	3.0
いない	97	12.4	26.8	57.7	3.1
5人未満	491	25.7	22.8	49.1	2.4
5人以上10人未満	305	27.9	22.3	46.2	3.6
10人以上20人未満	127	22.8	23.6	52.8	0.8
20人以上	65	30.8	12.3	55.4	1.5

(4) 友だち同士のケンカに対する考え(小3)(小6)



友だち同士のケンカに対する考えをみると、小3では「やっぱりケンカはよくない」が31.7%と最も多く、次いで「友だちだからケンカしても当たり前」(20.9%)となっている。小6になると、「やっぱりケンカはよくない」の回答割合が減少し、「友だちだからケンカしても当たり前」が26.3%と最も多くなっている。また、「こそこそするよりは、はっきりしてよい」が15.5%を占め、小3(3.5%)に比べて割合が高くなっている。(図5 - 1(4))

( 5 ) 気晴らしの方法 ( 17 歳 )



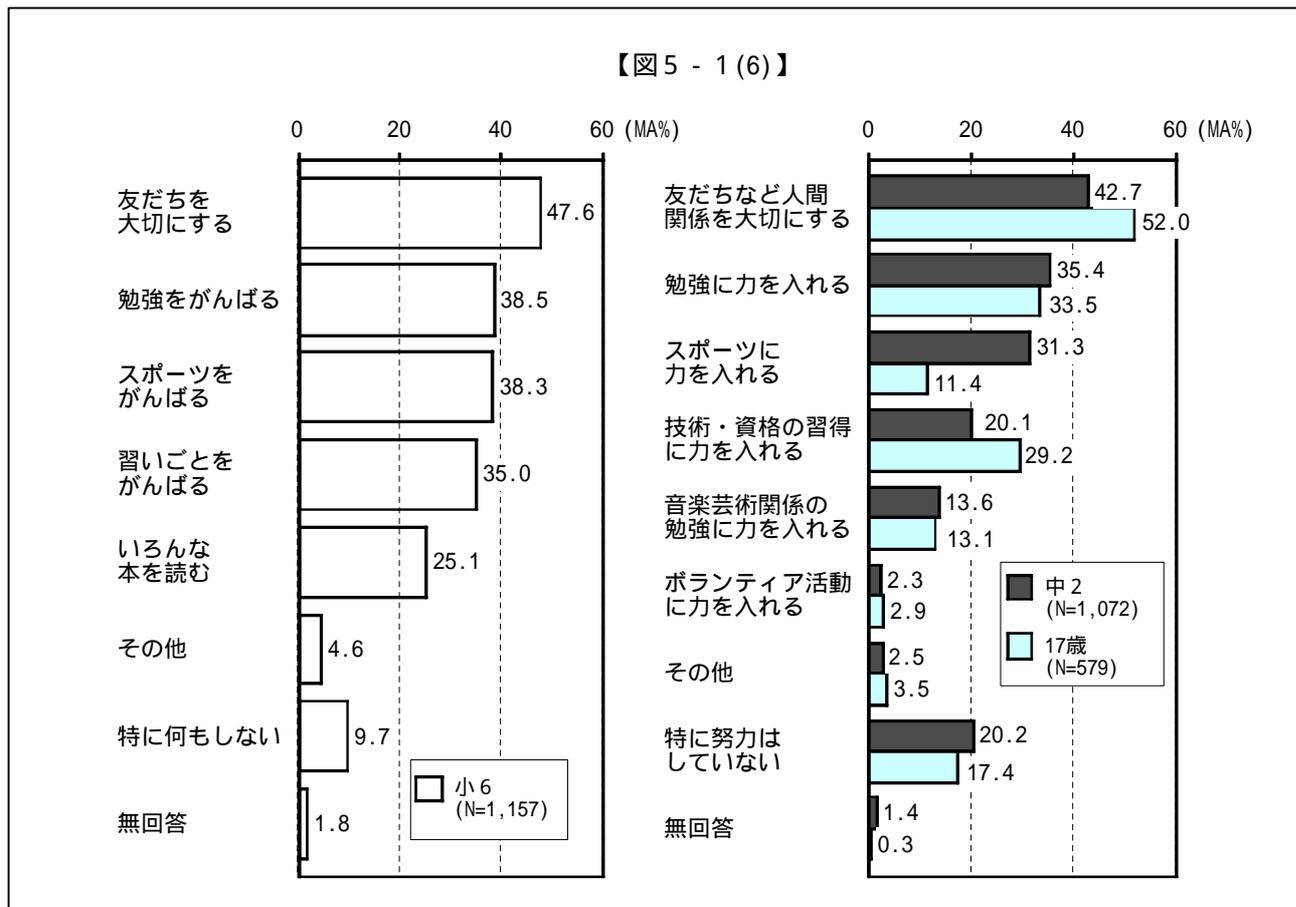
17歳の気晴らしの方法をみると、2人に1人は「音楽をきく」(58.0%)、「寝る」(51.2%)などで気晴らしをしている。それ以外には、「友だちと会う」(39.9%)、「友だちと電話する」(38.6%)、「テレビ・ビデオを見る」(33.9%)、「本・雑誌を読む」(27.7%)などが多くなっている。全体のうち、「何もしない」と回答した子どもは3.7%で、大半の子どもは何らかの気晴らし方法をもっている。(図5 - 1(5))

【表5 - 1 (5) - 1 何でも話せる友だちの数別 気晴らしの方法】

(MA%)											
	全 体	友 だ ち と 会 う	友 だ ち と 電 話 を す る	家 族 と 話 す	音 楽 を き く	テ レ ビ ・ ビ デ オ を 見 る	本 ・ 雑 誌 を 読 む	食 べ る	寝 る	ス ポ ー ツ を す る	楽 器 演 奏 や 料 理 な ど 趣 味 を 楽 し む
何でも話せる友だちの数											
17歳											
全 体	617	39.9	38.6	19.0	58.0	33.9	27.7	21.1	51.2	21.4	14.7
いない	54	13.0	14.8	11.1	42.6	40.7	29.6	20.4	53.7	18.5	11.1
5人未満	312	39.4	39.7	17.3	61.2	33.7	25.6	21.2	48.7	16.0	14.7
5人以上10人未満	151	44.4	48.3	25.8	56.3	33.8	29.1	19.2	53.6	27.2	18.5
10人以上20人未満	54	57.4	35.2	18.5	59.3	31.5	29.6	27.8	63.0	31.5	13.0
20人以上	18	61.1	33.3	16.7	66.7	33.3	44.4	22.2	50.0	44.4	0.0
	全 体	映 画 や ス ポ ー ツ 等 を 見 に 行 く	シ ョ ッ ピ ン グ に 行 く	ハ イ キ ン グ や 旅 行 に 出 か け る	バ イ ク に 乗 る	テ レ ビ ゲ ー ム な ど を す る	ゲ ー ム セ ン タ ー や カ ラ オ ケ ボ ツ ク ス に 行 く	パ ソ コ ン ・ イ ン タ ー ネ ッ ト を す る	そ の 他	何 も し な い	無 回 答
何でも話せる友だちの数											
17歳											
全 体	617	9.1	21.2	3.4	5.7	17.7	18.3	6.2	9.9	3.7	1.5
いない	54	13.0	11.1	7.4	7.4	27.8	11.1	11.1	11.1	13.0	-
5人未満	312	8.7	22.8	2.2	4.5	15.4	17.6	5.1	11.5	2.9	1.0
5人以上10人未満	151	9.3	20.5	4.0	2.6	15.9	19.2	4.6	6.0	1.3	1.3
10人以上20人未満	54	9.3	25.9	5.6	11.1	20.4	24.1	11.1	13.0	1.9	-
20人以上	18	0.0	11.1	0.0	11.1	22.2	33.3	0.0	5.6	5.6	-

何でも話せる友だちがいる場合は、「何もしない」が数%とわずかになっているものの、いない場合には約 10%を占めている。また、いない場合には「テレビゲームなどゲームをする」が約 30%を占め、いる場合に比べて割合が高くなっている。(表5 - 1 (5) - 1)

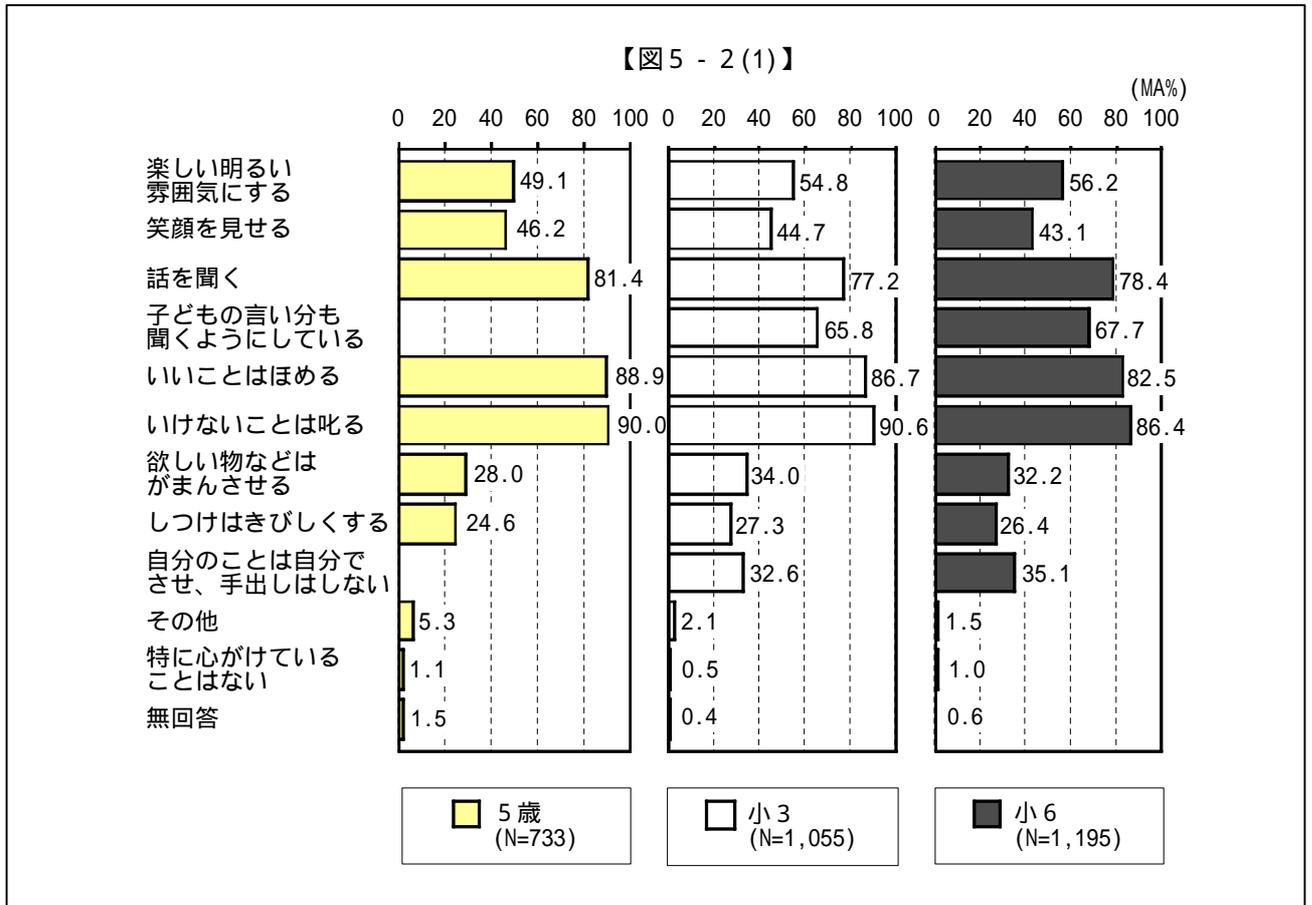
( 6 ) 夢の実現のために努力していること (小6 ) (中2 ) (17歳 )



夢を実現するための努力として、年代にかかわらず「友だちを大切にする」「友だちなど人間関係を大切にする」が最も多く、小6で47.6%、中2で42.7%、17歳で52.0%を占めている。次いで、「勉強」「スポーツ」「習いごと」「技術・資格の習得」などが多くなっているが、17歳になると「スポーツに力を入れる」の回答割合が減少している。一方、「特に何もしない」「特に努力はしていない」と回答した子どもは、小6で9.7%であったのに対し、中学2年生では20.2%、17歳では17.4%と約2倍に増加している。(図5 - 1(6))

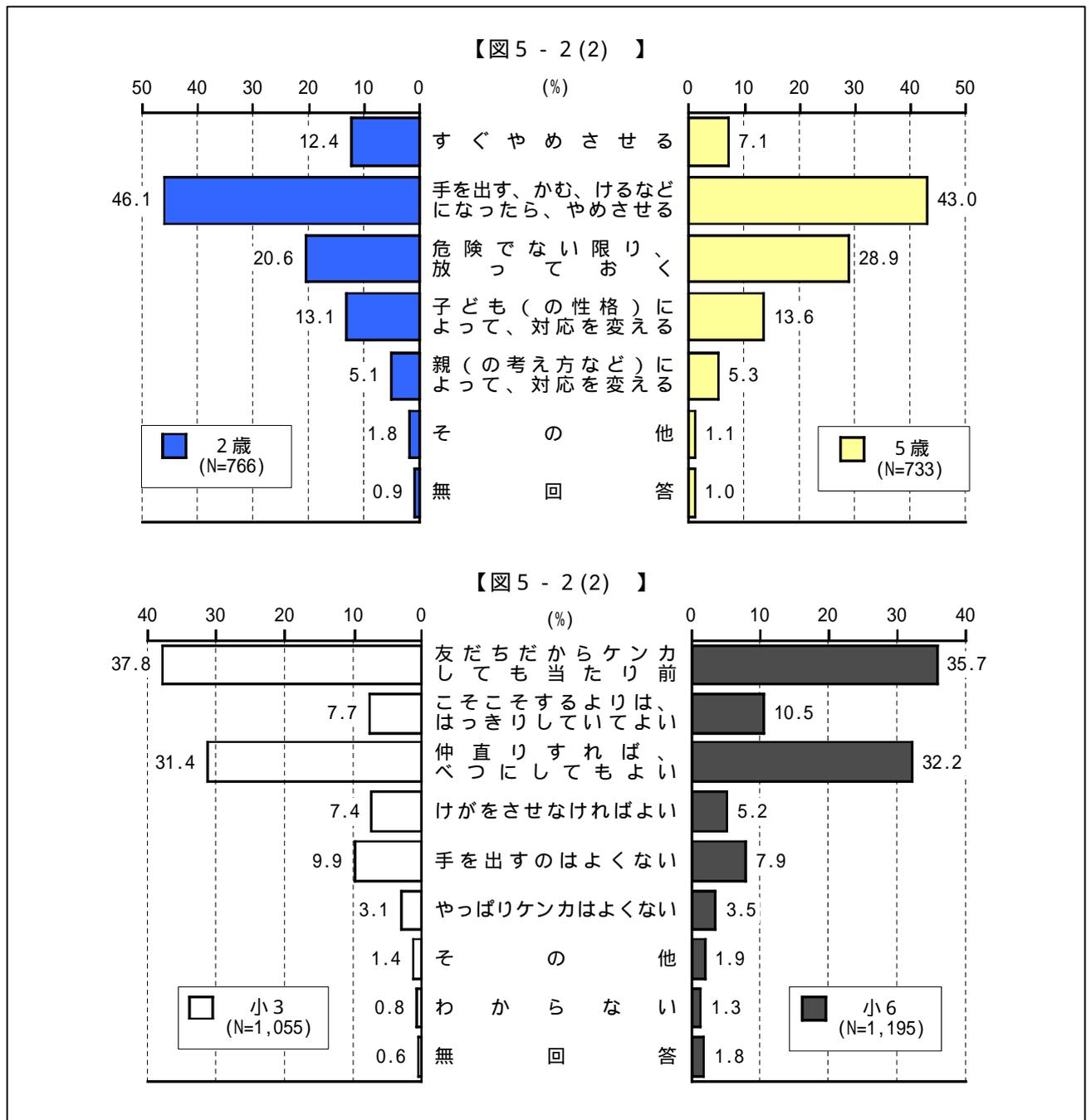
## 2. 親の考え方

(1) 子どもと接する時に心がけていること(5歳)(小3)(小6)



子どもと接する時に心がけていることは、いずれの年代も「いいことはほめる」「いけないことは叱る」が80~90%と多く、年代が低いほどその割合は高くなっている。これに次いで「話を聞く」が約80%、小3以上では「子どもの言い分も聞くようにしている」も約65%を占め、多くなっている。「欲しい物などはがまんさせる」「自分のことは自分でさせる」など子ども自身にさせることは、約30%となっている。(図5 - 2(1))

(2) 子ども同士のケンカ(もめごと)への対応・考え(2歳)(5歳)(小3)(小6)



子ども同士が物の取り合いやケンカなどした時の対応としては、2歳、5歳ともに「手を出す、かむ、けるなどになったら、やめさせる」が最も多く、2歳では46.1%、5歳では43.0%を占めている。次いで「危険でない限り、放っておく」が多く、2歳(20.6%)に比べて5歳(28.9%)の割合が高くなっている。同じ傾向として、「すぐやめさせる」は5歳(7.1%)に比べて2歳(12.4%)の割合が高くなっている。(図5 - 2(2))

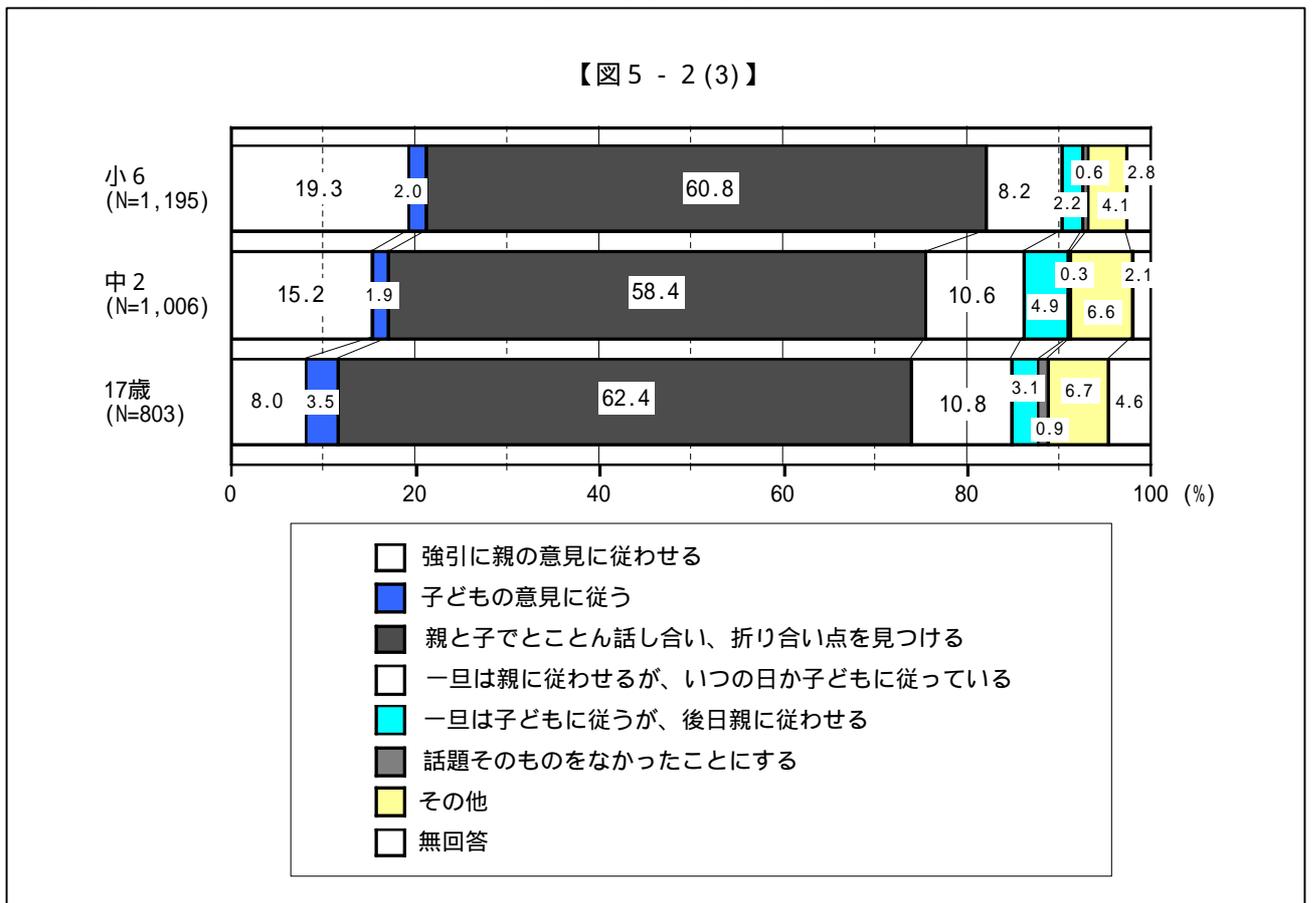
また、小学生の保護者に子ども同士のケンカに対する考えをたずねたところ、小3、小6ともに「友だちだからケンカしても当たり前」「仲直りすれば、べつにしてもよい」が多く、30~40%を占めている。(図5 - 2(2))

近所の子どもを叱った経験別にみると、「すぐやめさせる」は叱った経験のある人よりもほとんどない人の割合が高くなっている。2歳では、「危険でない限り、放っておく」は叱った経験の頻度が高いほど割合が高くなっている。(表5 - 2(2) - 1)

【表5 - 2(2) - 1 近所の子どもを叱った経験別 子ども同士のケンカ(もめごと)への対応・考え】

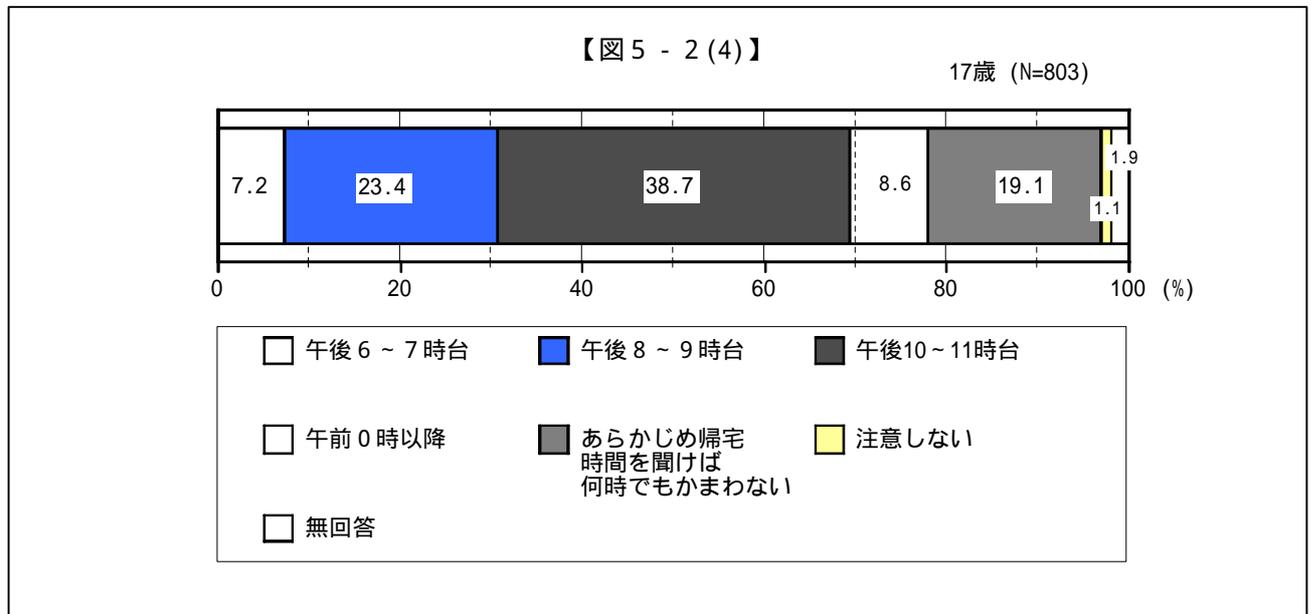
	全 体	す ぐ や め さ せ る	や め さ せ る な ど に な っ た ら 、 け	手 を 出 す 、 か む 、 け	放 つ て お く	危 険 で な い 限 り、 放 つ て お く	よ っ て こ の 性 格 に 対 応 を 変 え	え る に よ っ て、 対 応 を 変 え	親 (の 考 え 方 な ど)	そ の 他	(%) 無 回 答
近所の子どもを叱った経験											
2歳											
全 体	766	12.4	46.1	20.6	13.1	5.1	1.8	0.9			
よくある	58	8.6	43.1	27.6	15.5	3.4	1.7	-			
ときどきある	369	8.7	48.5	22.0	13.6	4.1	2.2	1.1			
ほとんどない	333	16.8	44.7	17.7	12.0	6.6	1.5	0.6			
5歳											
全 体	733	7.1	43.0	28.9	13.6	5.3	1.1	1.0			
よくある	86	9.3	33.7	33.7	18.6	2.3	1.2	1.2			
ときどきある	452	4.6	46.2	27.0	14.8	5.3	0.9	1.1			
ほとんどない	187	12.3	39.0	31.6	8.6	6.4	1.6	0.5			

(3) 子どもと意見が対立した時の対応(小6)(中2)(17歳)



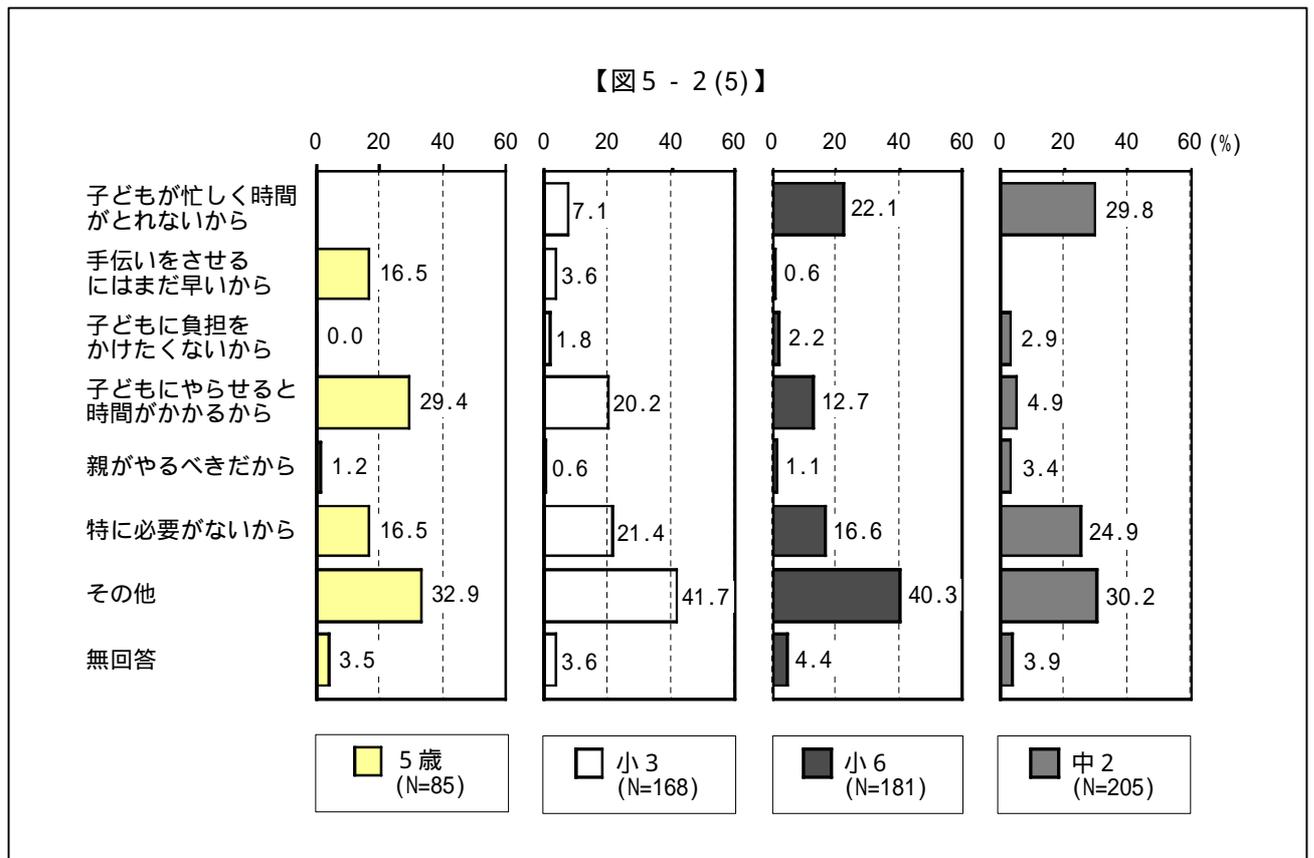
子どもと意見が対立した時の対応をみると、いずれの年代も「親と子でとことん話し合い、折り合い点を見つける」が最も多く、約60%を占めている。また、年代が低いほど「強引に親の意見に従わせる」の回答割合は増加しており、小6では19.3%と最も高くなっている。(図5 - 2(3))

(4) 注意する帰宅時間 (17歳)



子どもに注意する帰宅時間は、17歳では「午後10～11時台」が38.7%と最も多く、次いで「午後8～9時台」(23.4%)となっている。また、「あらかじめ帰宅時間を聞けば何時でもかまわない」と回答している人が19.1%を占めている。(図5 - 2(4))

(5) 手伝いをさせていない理由(5歳)(小3)(小6)(中2)

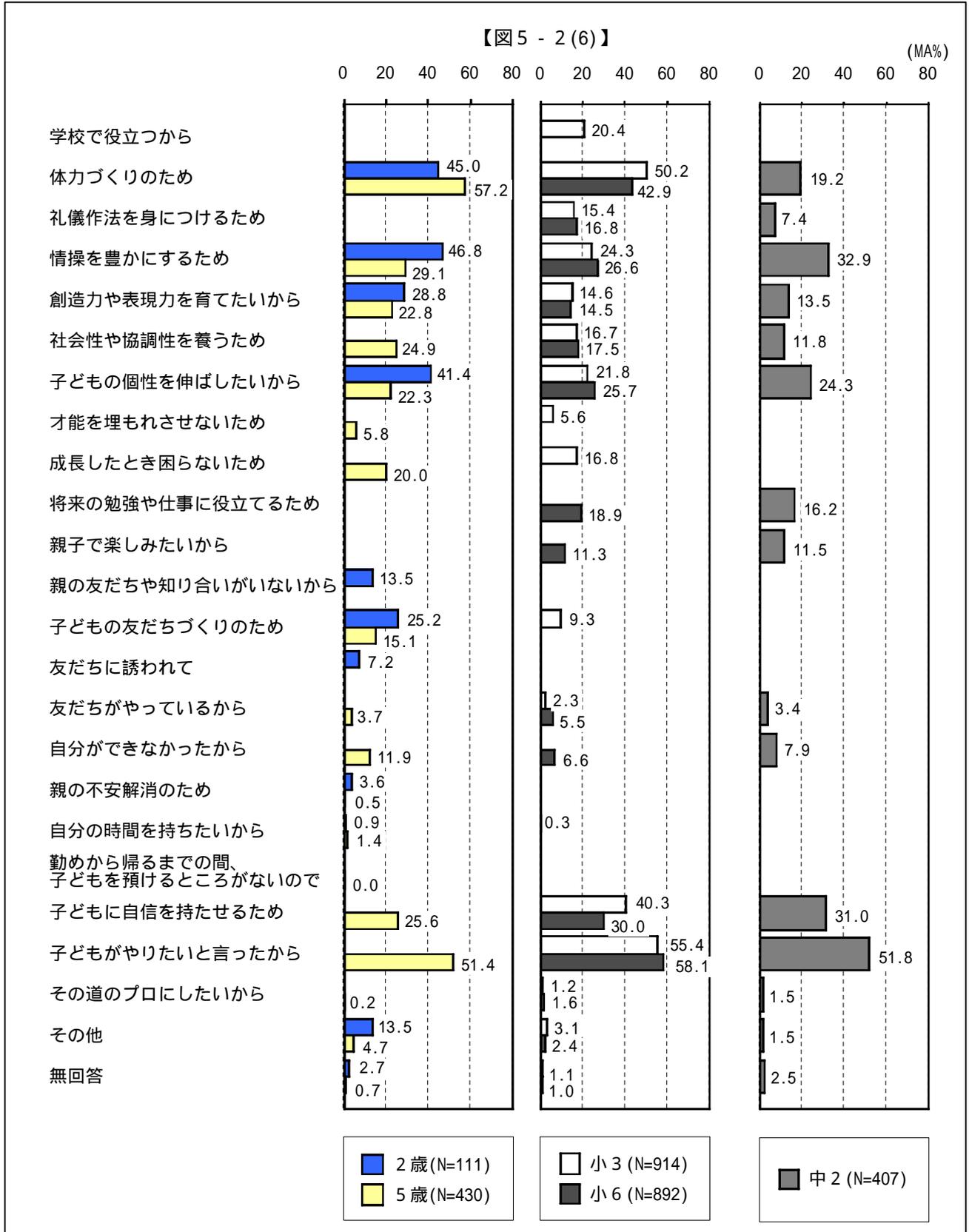


子どもに手伝いさせていない人にその理由をたずねたところ、5歳、小3では「子どもにやらせると時間がかかるから」、小6以上では「子どもが忙しく時間がとれないから」が20~30%を占め、最も多い理由となっている。これに並んで小3では「特に必要ないから」(21.4%)も多く、中2でも24.9%を占め、他の年代に比べて割合が高くなっている。また、いずれの年代も「その他」の回答割合が高くなっているが、決まった手伝いはさせていないものの、必要な時に手伝わせるといった理由が多くあげられている。(図5 - 2(5))

(6) 習いごとに通わせている理由(2歳)(5歳)(小3)(小6)(中2)

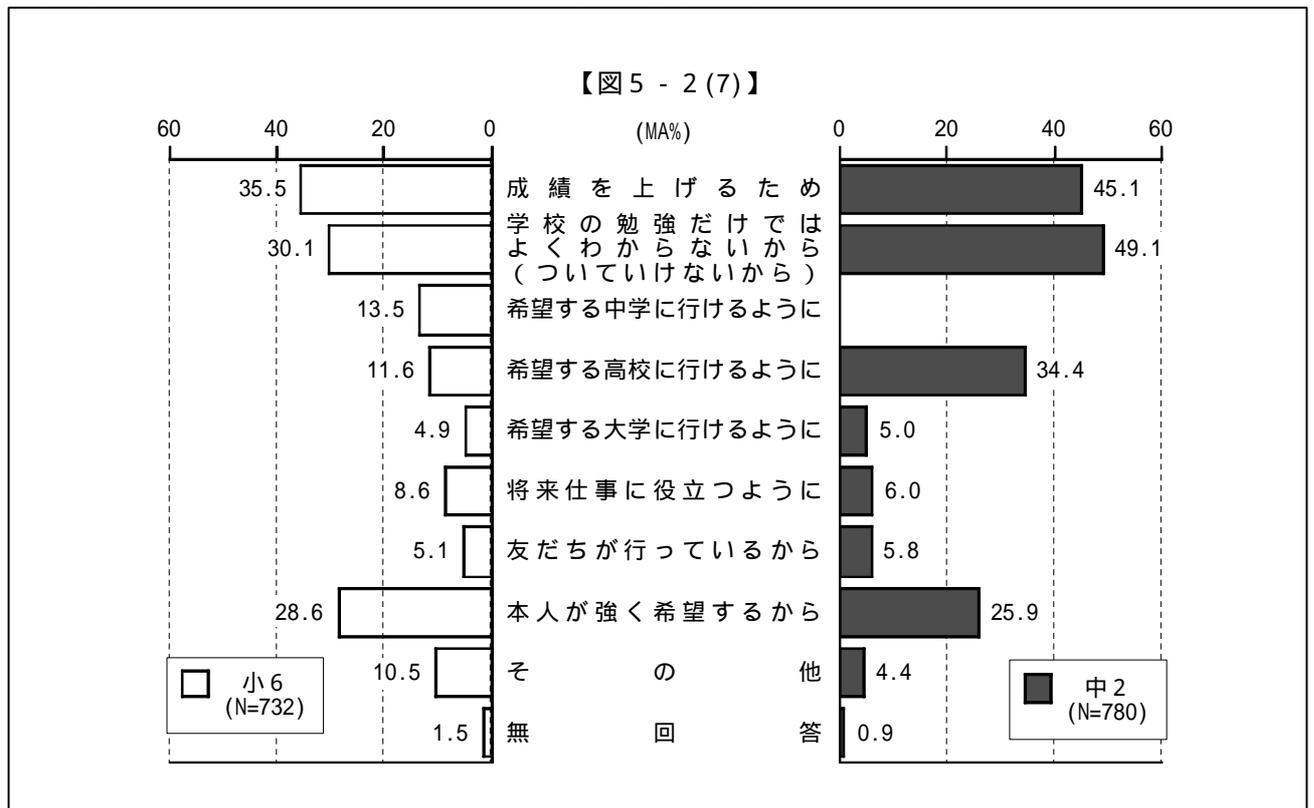
【図5 - 2(6)】

(MA%)



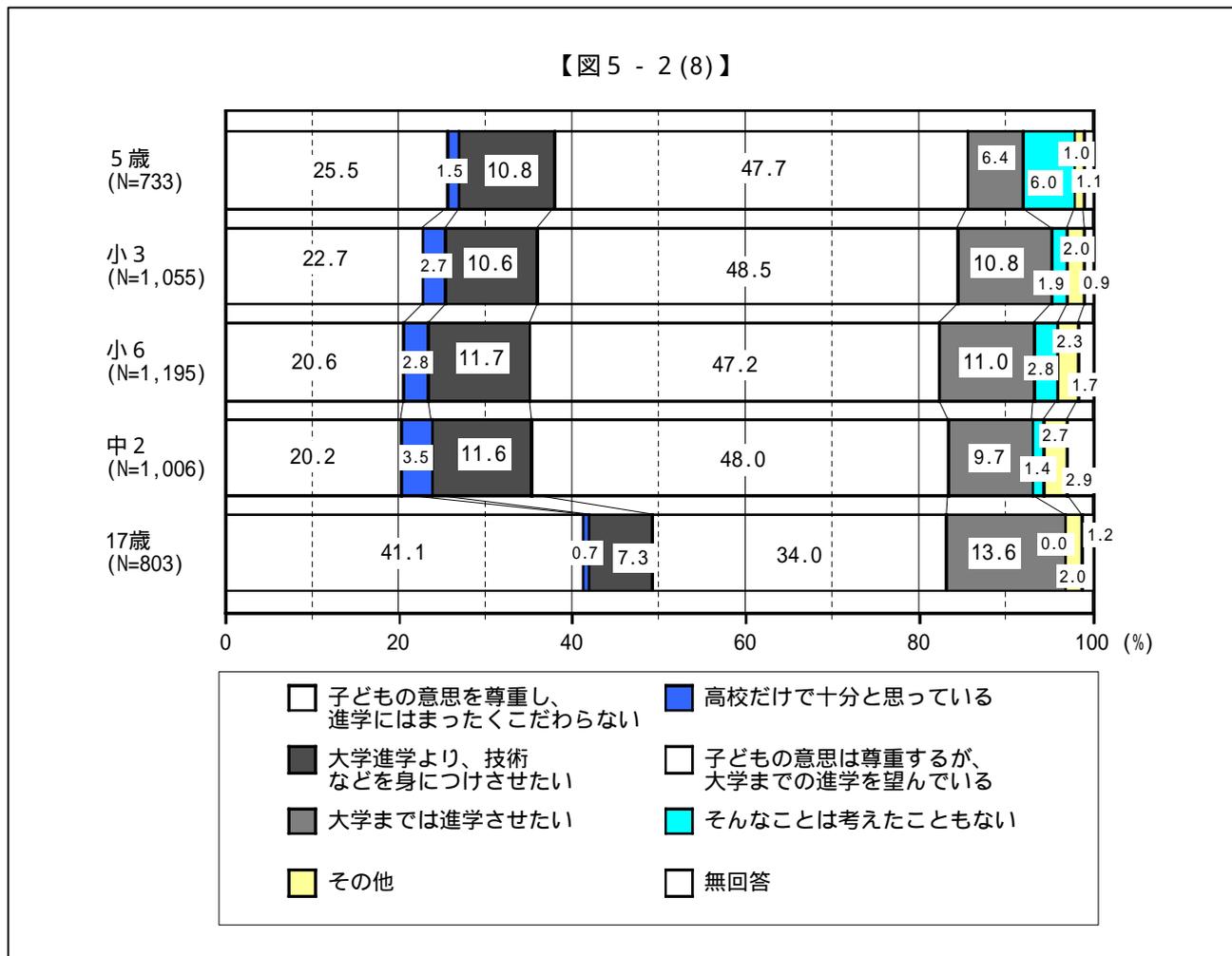
習いごとに通わせている理由をたずねたところ、2歳では「情操を豊かにするため」「体力づくりのため」「子どもの個性を伸ばしたいから」がいずれも40%以上を占め、特に多くなっている。5歳から小6にかけても引き続き「体力づくりのため」が多く、それ以外に「子どもがやりたいと言ったから」が半数以上を占め、小3以上では最も多い理由としてあげられている。これ以外に小3では、「子どもに自信を持たせるため」も約40%を占めている。(図5 - 2(6))

(7) 塾や通信教育などをさせている理由(小6)(中2)



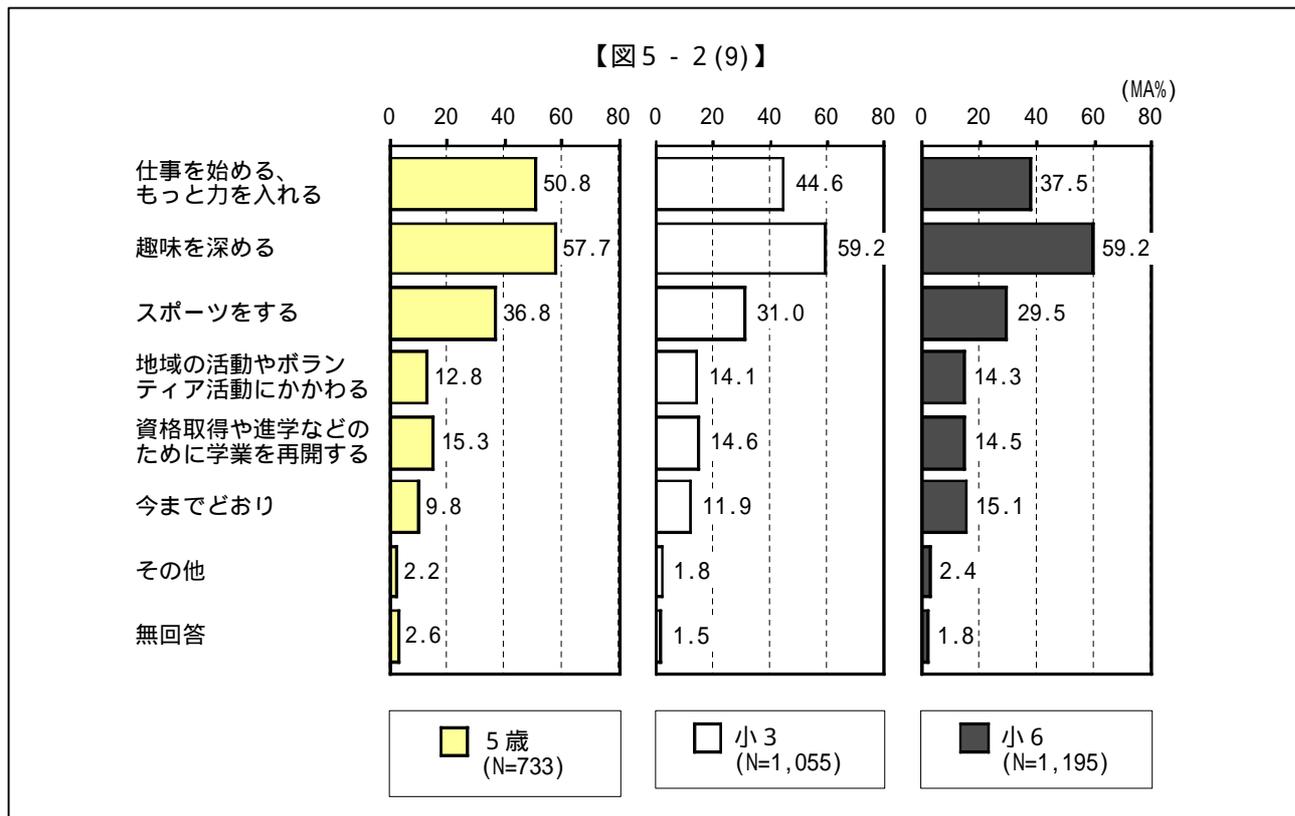
塾や通信教育をさせている理由をたずねたところ、いずれの年代も「成績を上げるため」「学校の勉強だけではよくわからないから(ついていけないから)」が多く、中2は小6に比べて「成績を上げるため」が約10ポイント、「学校の勉強だけではよくわからないから(ついていけないから)」が約20ポイント高くなっている。次いで、中2では「希望する高校に行けるように」が34.4%、どちらも「本人が強く希望するから」が25~30%を占め、多くなっている。(図5 - 2(7))

( 8 ) 子どもの進学への考え ( 5 歳 )( 小 3 )( 小 6 )( 中 2 )( 17 歳 )



子どもの進学についての考えをたずねたところ、5歳から中2までは「子どもの意思は尊重するが、大学までの進学を望んでいる」が最も多く、約50%を占めている。17歳になると、その割合が約15ポイント減少し、「子どもの意思を尊重し、進学にはまったくこだわらない」が41.1%と最も多くなっている。( 図 5 - 2 ( 8 ) )

( 9 ) 時間のゆとりができたならやりたいこと ( 5 歳 )( 小 3 )( 小 6 )



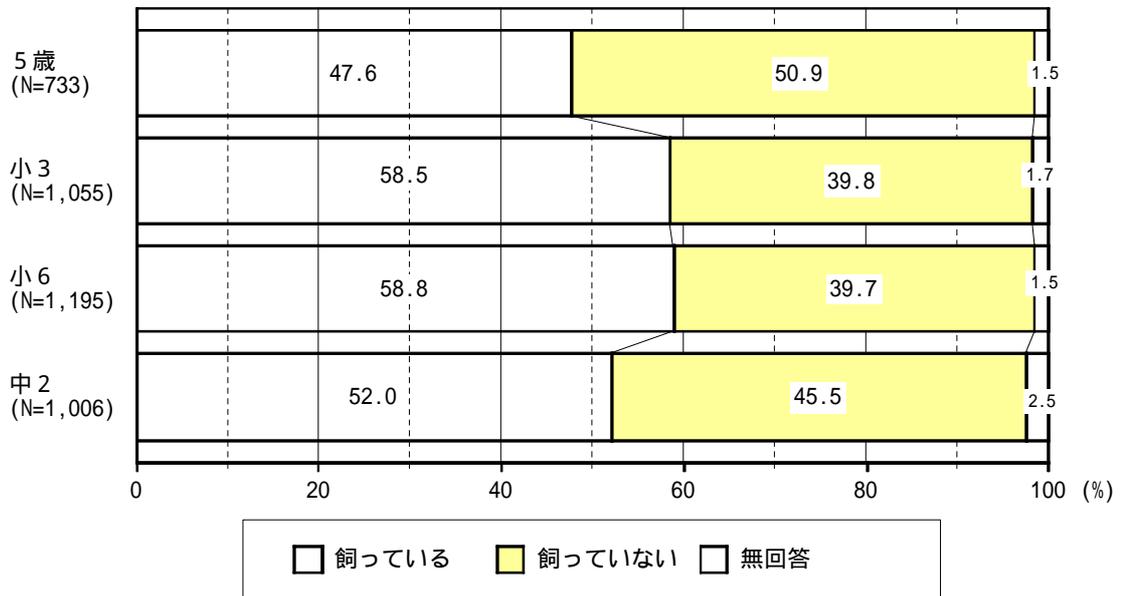
時間のゆとりができたならやりたいこととして、各年代を通じて最も多かったのは「趣味を深める」となっており、5歳で57.7%、小3・小6ともに59.2%を占めている。次いで、「仕事を始める、もっと力を入れる」が多く、5歳では50.8%と半数を占めている。(図5 - 2(9))

生き物を飼っているかどうかたずねたところ、5歳では「飼っている」が47.6%、「飼っていない」が50.9%となっている。小3以上になると、半数以上が「飼っている」と回答しており、「飼っていない」と回答した人をやや上回っている。(図5 - 2(10))

飼っていない人の理由として最も多かったのは、いずれの年代も「住宅事情のため」となっており、45~50%を占めている。これに次いで「今は面倒をみる余裕がないから」「死ぬのがかわいそうだから」、小6以上では「飼っていたが、死んでしまった」という回答も多くなっている。「今は面倒をみる余裕がないから」は年代が低いほど割合が高くなっている。また、「アレルギーのため」と回答した人は、いずれの年代でも15~20%程度となっている。(図5 - 2(10))

(10) 生き物を飼っているか・飼っていない理由 (5歳)(小3)(小6)(中2)

【図5-2(10)】



飼っていない理由

【図5-2(10)】

